



Think Automation and beyond...

2019年3月期 通期 (2018年4月1日～2019年3月31日) 決算ご説明資料

2019年5月10日
IDEC株式会社
証券コード:6652

2019年3月期 通期
(2018年4月1日～2019年3月31日)
決算ご説明資料

連結決算のポイント



買収効果もあり売上は増加したものの、事業環境の変化に伴い事業再編を加速したことなどから減益

売上

■ 売上高 628億円 (前期比 +5.0%)

- 米中貿易摩擦の影響などにより下半期から市場環境が変化したものの、全地域において売上高は前期を上回った
- APEMやウェルキャット、東京センサなどの業績が寄与

利益

■ 営業利益 57億円 (前期比 △ 6.3%)

■ 経常利益 58億円 (前期比 △ 9.8%)

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 37億円 (前期比 △30.1%)

■ 自己資本利益率(ROE) 8.2%

- 新規連結にともない販売管理費が増加したことに加え、下半期以降の厳しい市場環境を踏まえて国内外の事業再編を加速し、特別損失を計上したことなどから、利益は前期比で減益

配当

■ 1株当たり年間配当金 50円 (前期 50円)

連結業績概要<連結損益計算書>-1



2019年3月期 通期 業績概要

(単位:百万円)	19.3月期 通期			18.3月期 通期	
	実績	対売上比	前期比	実績	対売上比
売上高	62,757	100.0%	+ 5.0%	59,783	100.0%
売上総利益	26,973	43.0%	+ 3.7%	26,022	43.5%
販売費及び一般管理費	21,244	33.9%	+ 6.7%	19,909	33.3%
営業利益	5,728	9.1%	△ 6.3%	6,112	10.2%
経常利益	5,849	9.3%	△ 9.8%	6,484	10.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,700	5.9%	△30.1%	5,296	8.9%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	112.53円	—	△57.84円	170.37円	—
USDレート (円)	110.93円		+0.07円	110.86円	—
EURレート (円)	128.44円		△1.22円	129.66円	—

連結業績概要<連結損益計算書>-2



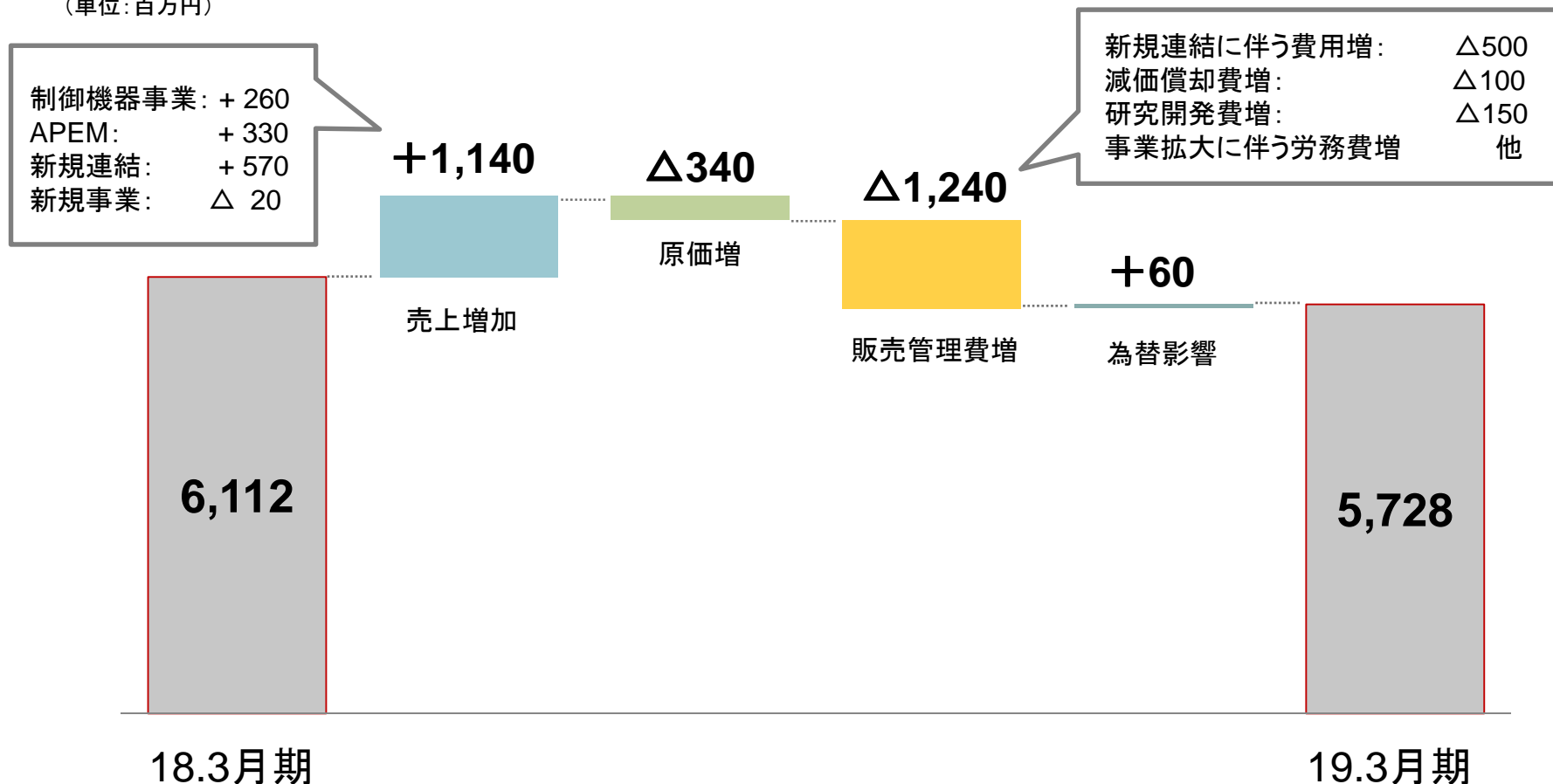
四半期別 業績概要

(単位:百万円)	18.3月期		19.3月期								
	4Q(1月~3月)		1Q(4月~6月)		2Q(7月~9月)		3Q(10月~12月)		4Q(1月~3月)		
	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	15,202	100.0%	15,493	100.0%	16,358	100.0%	15,730	100.0%	15,174	100.0%	△0.2%
売上総利益	6,535	43.0%	6,882	44.4%	7,009	42.9%	6,691	42.5%	6,389	42.1%	△2.2%
販売費及び一般管理費	5,190	34.1%	5,307	34.3%	5,290	32.3%	5,153	32.8%	5,492	36.2%	+5.8%
営業利益	1,344	8.9%	1,575	10.2%	1,718	10.5%	1,538	9.8%	896	5.9%	△33.3%
経常利益	1,290	8.5%	1,604	10.4%	1,820	11.1%	1,479	9.4%	945	6.2%	△26.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	984	6.5%	1,443	9.3%	954	5.8%	923	5.9%	379	2.5%	△61.5%
1株当たり 四半期純利益 (潜在株式調整前)	29.97円		43.95円		29.02円		28.07円		11.53円		

連結営業損益変動要因

増収効果による収益増の一方、原材料価格や人件費の高騰などによる原価の増加や、品質改善・事業拡大に向けた設備投資や拠点再編、買収に伴う販売管理費増加などの影響により前期比で約3.8億円減少

(単位:百万円)



連結特別損益の状況



国内外の事業再編に伴う固定資産売却益の計上により特別利益を約7億円計上した一方、パワーコンディショナ事業再編や、筑波事業所の閉鎖に伴う事業整理損を、特別損失として約11億円計上

		19.3月期	18.3月期
(単位:百万円)			
経常利益		5,849	6,484
特別利益	固定資産売却益	676	22
	投資有価証券売却益	0	777
	その他	1	1
	小計	678	801
特別損失	事業整理損	1,086	—
	その他	21	45
	小計	1,107	45
税金等調整前当期純利益		5,420	7,240
親会社株主に帰属する当期純利益		3,700	5,296

地域別売上状況



地域別売上状況

単位:百万円
(構成比)

	19.3月期	18.3月期	前期比
日本	29,373 (46.8%)	28,158 (47.1%)	+ 4.3%
海外	33,383 (53.2%)	31,625 (52.9%)	+ 5.6%
米州	9,909 (15.8%)	9,265 (15.5%)	+ 7.0%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	11,011 (17.5%)	9,999 (16.7%)	+10.1%
アジア・ パシフィック	12,462 (19.9%)	12,360 (20.7%)	+ 0.8%
合計	62,757 (100.0%)	59,783 (100.0%)	+ 5.0%

日本 前期比 + 4.3%

- オートメーションソリューション製品や安全・防爆ソリューション製品などの売上が堅調に推移
- グループ会社である、ウェルキャットや東京センサの売上が寄与

※東京センサは2019年4月にIDECに吸収合併

海外 前期比 + 5.6%

- 欧州を中心にAPEMの売上が伸長し、HMIソリューション製品が堅調に推移
- 米州では、プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器が伸長
- アジア・パシフィックでは、中国の成長鈍化による影響があったものの、安全関連機器や制御用リレーなどが伸長

製品別売上状況



製品別売上状況

単位:百万円 (構成比)	19.3月期	18.3月期	前期比
HMIソリューション	29,685 (47.3%)	28,212 (47.2%)	+ 5.2%
盤内機器ソリューション	11,444 (18.2%)	11,324 (19.0%)	+ 1.1%
オートメーションソリューション	8,755 (14.0%)	8,184 (13.7%)	+ 7.0%
安全・防爆ソリューション	6,934 (11.1%)	6,359 (10.6%)	+ 9.0%
システム	3,276 (5.2%)	2,935 (4.9%)	+11.6%
その他	2,661 (4.2%)	2,767 (4.6%)	△ 3.8%
合計	62,757 (100.0%)	59,783 (100.0%)	+ 5.0%

HMIソリューション

APEM製品が伸長し、制御用操作スイッチが好調に推移

盤内機器ソリューション

制御用リレーなどの売上が伸長

オートメーションソリューション

ウェルキャットの自動認識機器の売上が寄与したことに加え、プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器の売上也堅調に推移

安全・防爆ソリューション

当期より東京センサの売上が寄与したことに加え、防爆関連機器も伸長
※東京センサは2019年4月にIDECに吸収合併

システム

半導体・液晶製造装置用の制御盤に加え、多様な業界向けのシステム製品が好調に推移

その他

環境事業、協調安全ロボットシステムなどの新規事業が堅調に推移したものの、生産会社の外販等が減少したことにより総額としては減少

連結業績概要 <連結貸借対照表>



2019年3月期 連結貸借対照表概要

資産のポイント

- 現金及び預金などが増加した一方、売上債権や無形固定資産が減少したことなどにより、総資産は前期末比約25億円減少

負債のポイント

- 前受金が増加したものの、支払債務の減少や、借入金の返済などにより、負債は前期末比約27.5億円減少

純資産のポイント

- 為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金が増加したことなどにより、純資産は前期末比約2.5億円増加

(単位:百万円)

科目	19.3月期 (当会計年度)	18.3月期 (前会計年度)	前会計年度末比 増減
流動資産	38,870	39,873	△1,002
固定資産	50,162	51,657	△1,495
流動負債	22,804	26,953	△4,148
固定負債	20,684	19,284	+1,399
純資産	45,544	45,292	+ 251
総資産	89,032	91,530	△2,497
自己資本比率	51.1%	49.2%	+ 1.9%

連結業績概要 <連結CF計算書>



2019年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書概要

営業活動によるCF

- 仕入債務の減少に加え、法人税等を納付した一方、売上債権の減少や当期純利益の計上などにより、約61.1億円となった

投資活動によるCF

- 主に、国内外の事業所再編による固定資産の売却や取得に加え、子会社株式の取得などにより、約△26.6億円となった

財務活動によるCF

- 主に、配当金の支払いや、短期及び長期借入金の返済などにより、約△28.7億円となった

(単位:百万円)

	19.3月期	18.3月期	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,119	4,926	+1,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,665	△ 858	△1,806
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	3,543	4,067	△ 613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,878	△3,926	+1,048
現金及び現金同等物の期末残高	12,868	12,341	+ 527
設備投資額	4,122	1,991	+2,130
減価償却費	2,701	2,398	+ 302

2020年3月期 連結業績予想
(2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年3月期 連結業績予想



(単位:百万円)	20.3月期 予想 (日本基準)			19.3月期 (日本基準)		20.3月期 予想 (IFRS概算)	
	予想	対売上比	前期比	実績	対売上比	予想	対売上比
売上高	60,000	100.0%	△ 4.4%	62,757	100.0%	60,000	100.0%
売上総利益	26,600	44.3%	△ 1.4%	26,973	43.0%	26,600	44.3%
販売費及び一般管理費	20,600	34.3%	△ 3.0%	21,244	33.9%	19,800	33.3%
営業利益	6,000	10.0%	+ 4.7%	5,728	9.1%	6,800	11.3%
経常利益	6,000	10.0%	+ 2.6%	5,849	9.3%	6,800	11.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	6.3%	+ 2.7%	3,700	5.9%	4,600	7.7%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	115.49円	+2.96円	—	112.53円	—	139.81円	—
EBITDA	9,700	16.2%	+ 2.3%	9,485	14.5%	9,700	16.2%
USDレート (円)	110.00円			110.93円		—	
EURレート (円)	125.00円			128.44円		—	

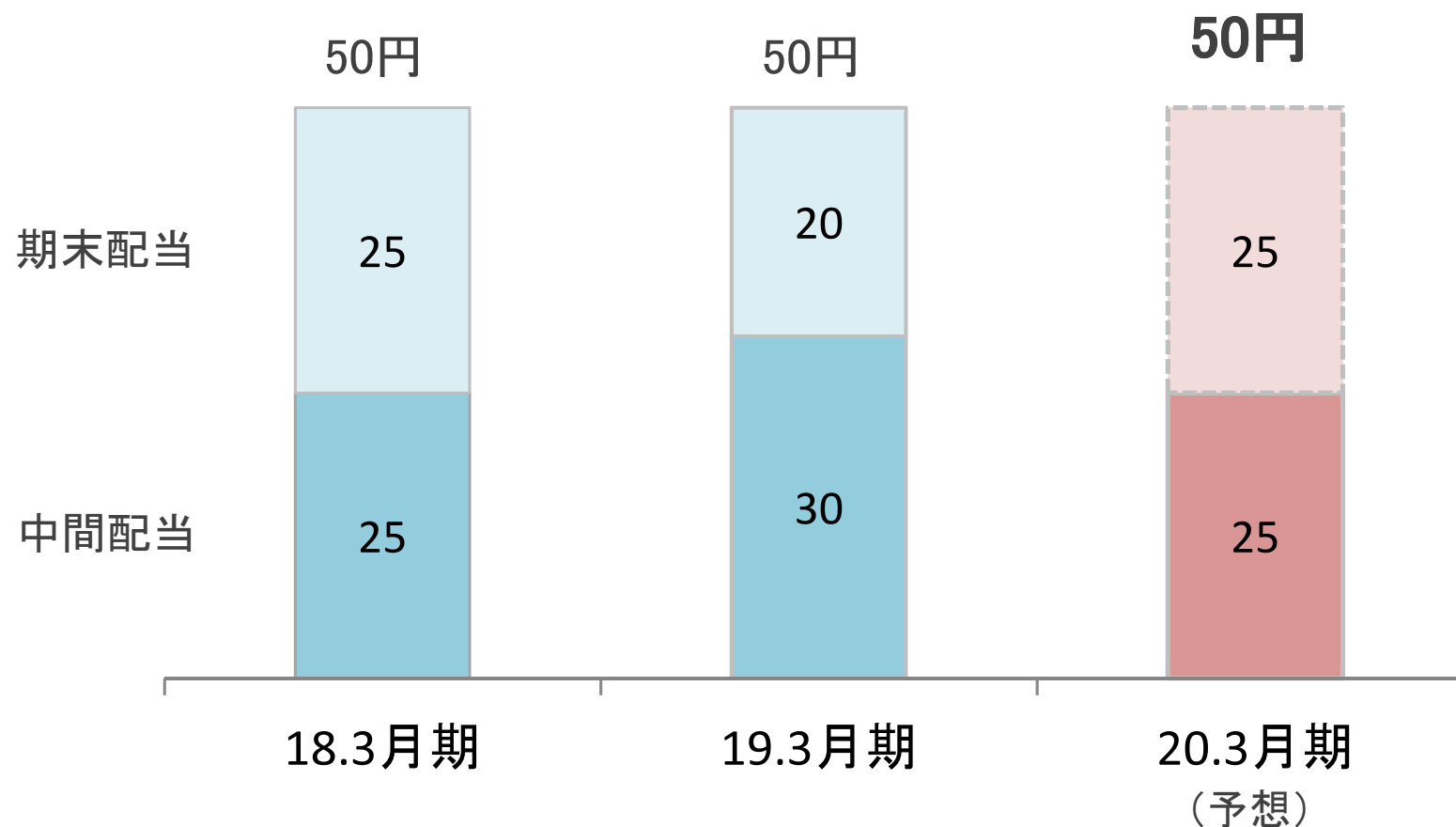
2020年3月期 連結業績予想



(単位:百万円)	20.3月期 予想	19.3月期 実績	前期比
HMIソリューション	28,300	29,685	△4.7%
盤内機器ソリューション	10,900	11,444	△4.8%
オートメーションソリューション	8,500	8,755	△2.9%
安全・防爆ソリューション	6,700	6,934	△3.4%
システム	3,100	3,276	△5.4%
その他	2,500	2,661	△6.1%
合 計	60,000	62,757	△4.4%
国内売上高	27,600	29,373	△6.0%
海外売上高	32,400	33,383	△2.9%
(海外比率)	(54.0%)	(53.2%)	

2020年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金は**50円**、配当性向は43.3%
(前期は44.4%)を予想。

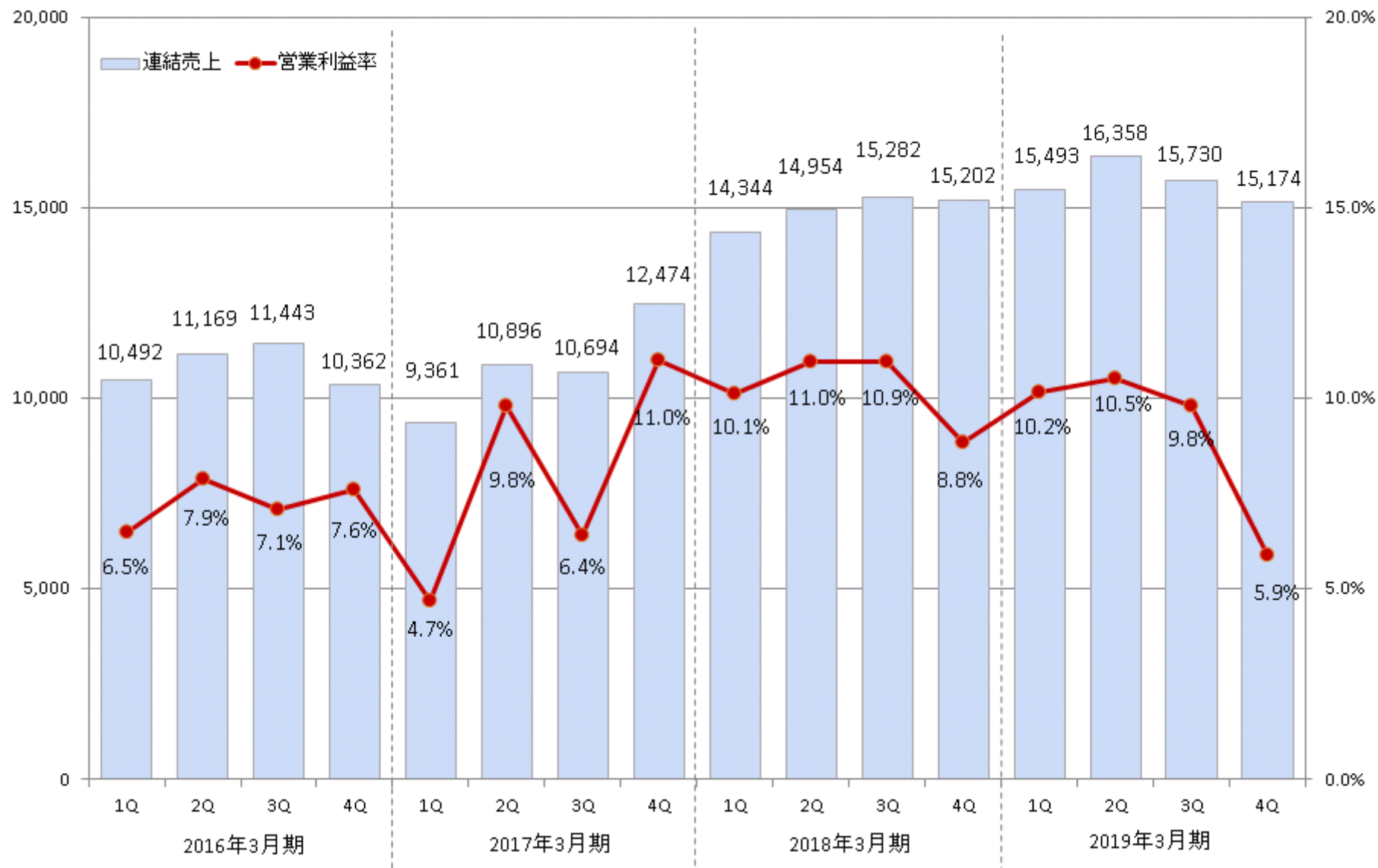


参考資料

売上高・営業利益率 四半期推移

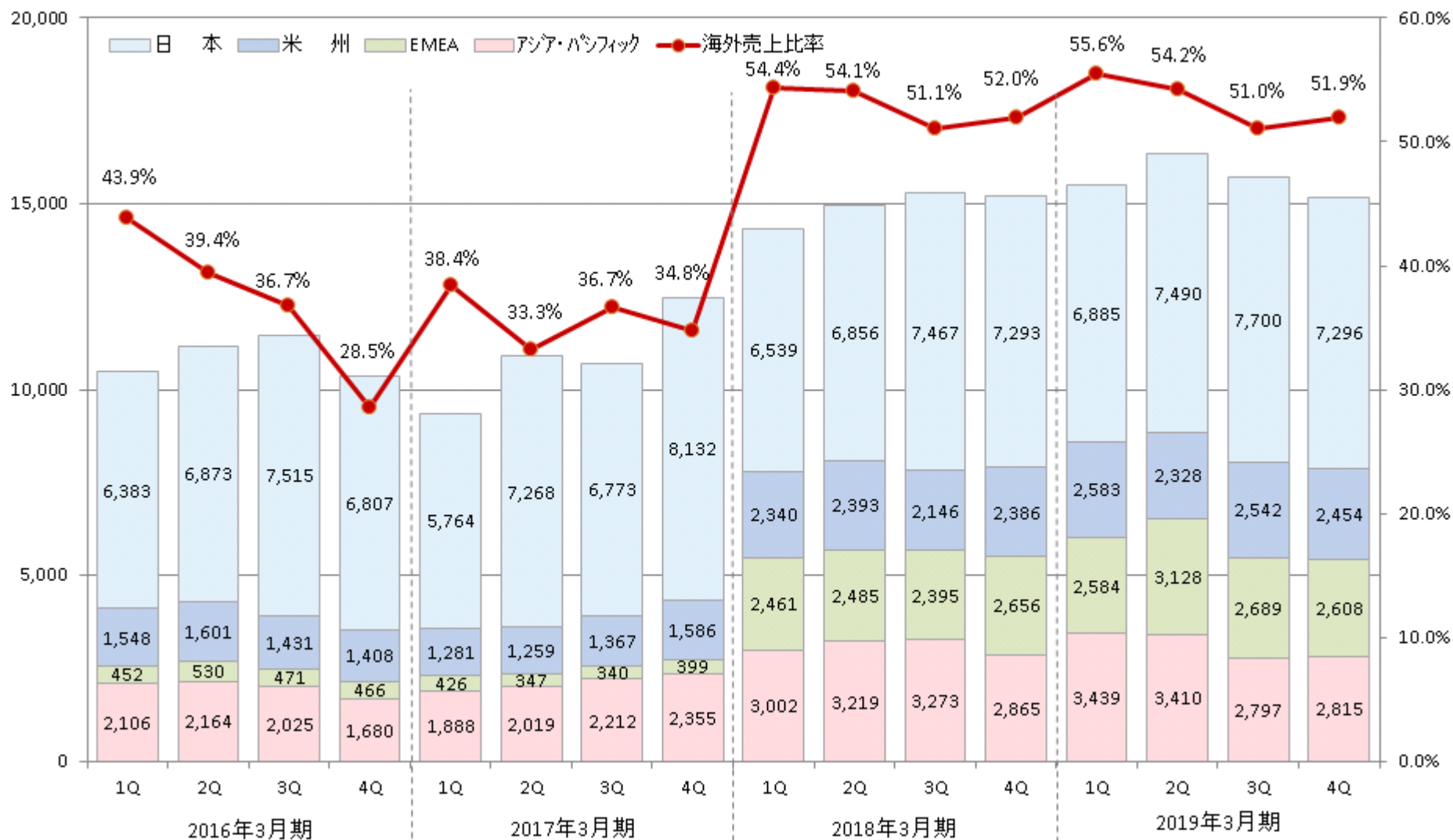


(単位:百万円)



地域別売上高 四半期推移

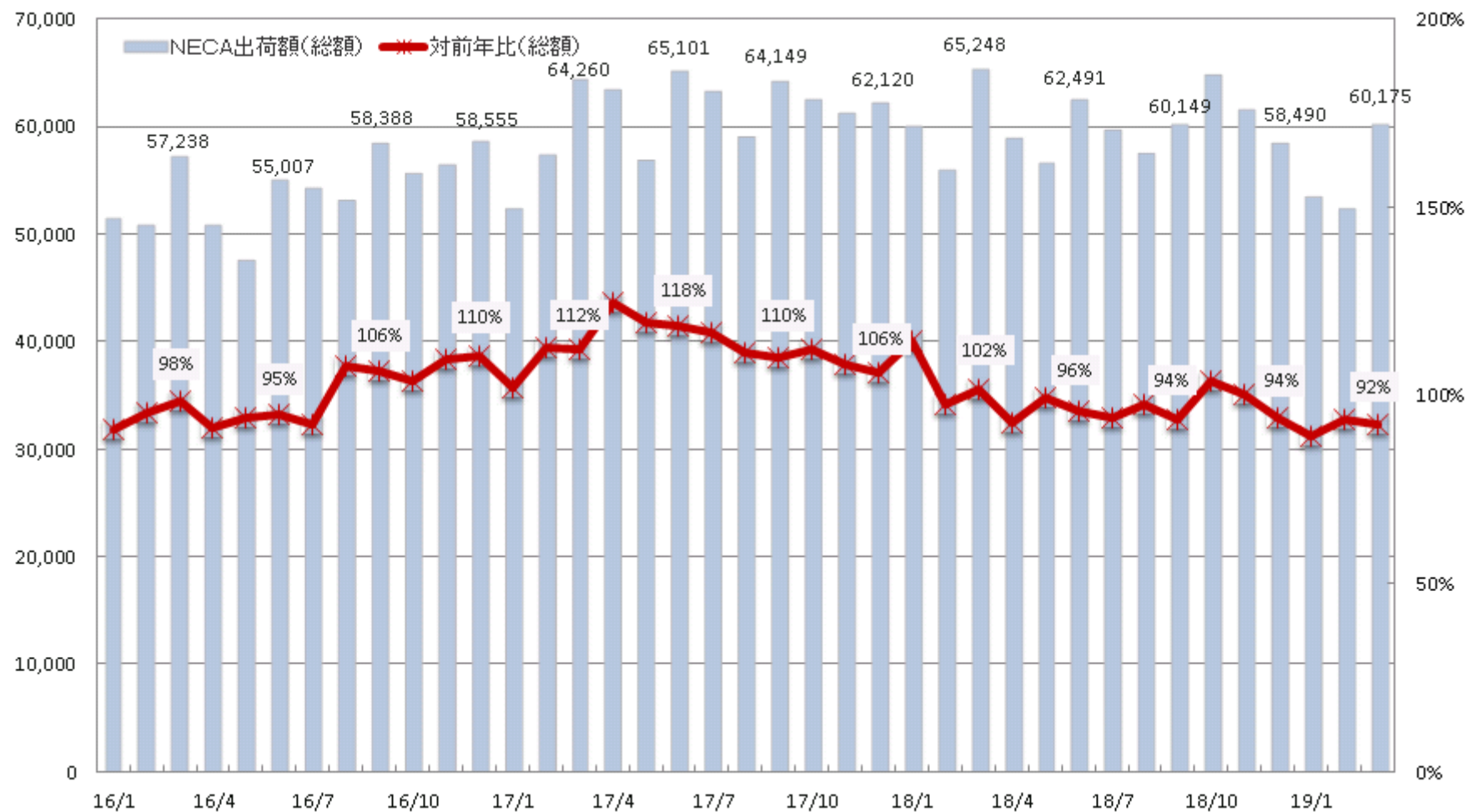
(単位:百万円)



業界の動向 (日本電気制御機器工業会(NECA)出荷データ推移)

16年4月～19年3月の業界出荷額推移と対前年比の状況

(単位:百万円)



製品別売上状況

製品群

HMI	盤内機器	オートメーション	安全・防爆	システム	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・制御用操作スイッチ ・ジョイスティック ・表示灯  <p>APEM製品</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチング電源 ・端子台 ・制御用リレー/ソケット ・サーキットプロテクタ ・産業用LED照明 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラマブルコントローラ ・プログラマブル表示器 ・光電スイッチ ・自動認識機器 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全関連機器 ・防爆関連機器 	<ul style="list-style-type: none"> ・表示器複合システム ・セキュリティシステム ・その他各種システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・エネルギー関連事業 ・次世代農業ソリューション ・協働ロボットシステム ・ウルトラファインバブル発生装置 

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。従いまして、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社

経営戦略企画部

TEL :06-6398-2505

FAX :06-6398-2587

E-mail : y.ogawa@jp.idec.com

